

准后、女御、御相伴、女中もそろ々御すわりあり、めでたしく。

〔尺素往来〕年始慶賀日新重疊、世上朴略之兆、寰中艾寧之期可有。今歲候略、中來月朔日相當初午候、稻荷御參詣勿論候歟、然者於還坂邊例式之差檻、一個、縛樽兩三、檜破子、取肴風情可令用意候、〔貞丈雜記六飲食〕取肴と云事、昔よりあり、酒の肴の事也、尺素往来に檜破子とり肴とあり、〔酌次第〕一つねにとりざかなにて御酒有とき、座敷により久しきとき、ぐざやうの物いかほども座のけうによりて出べし、かやうの儀はまだまれるほう有べからず、主人の御きしょくによりて御酒久しきときは、いづれも同前也。

一同とりざかなと云事、何なりともいくいろもありて出すをいふ也、二いろ三いろもある也、あしうちなどにも杉原をしき、そのうへになんてんのは、あるひは煮やかなどを煮きてよき候て、さてそのうへにもる也、正月などはうらじろ、ゆづりはなど煮きてよき也。

〔當流節用料理大全〕取肴の類有増

- | | | | |
|-------|--------|--------|----------|
| 一いせゑび | 一とぢいはし | 一車ゑび | 一するめ |
| 一焼いか | 一鮭鹽引 | 一鰯鹽引 | 一ばい |
| 一からすみ | 一うばやきて | 一あいきやう | 一さかうめやきて |
| 一よなき | 一昆布やきて | 一ゆべし | 一たこ |
| 一もみのし | 一ろくでう | 一ごさめ | 一さゞゐ粕漬 |
| 一ごん切 | 一あはび糟漬 | 一めざし | 一にしかす漬 |

〔鈴鹿家記〕應永六年六月十五日乙丑、當屋ヨリ赤飯給、巳ノ上刻御立吸物コイ食、引物鱧カバヤキ、鮒スシ、煮物、コンニヤク、肴臺高砂、取肴、生鮑、ワ冷物、リン子アエ、冷物、リソハスノ若根、コンニヤク色付、赤貝色付、島臺物酒宴、